

会 議 録

- 1 会議名 新折尾駅周辺整備検討会（第8回【令和元年度第1回】）
- 2 会議種別 市政運営上の会合
- 3 議 題 1) 折尾駅駅前広场景観計画について
2) 市の目指す折尾駅周辺の土地活用イメージ（案）について
- 4 開催日時 令和元年 7月9日（火）
10時00分 ～ 12時00分
- 5 開催場所 建築都市局折尾総合整備事務所 大会議室
（北九州市八幡西区北鷹見町13番10号 オリオンプラザ2階）

6 出席者氏名

■構成員（敬称略）（50音順）

北九州市立大学	建築デザイン学科	教授	赤川 貴雄
西日本工業大学	学生支援課	参与	内田 恵里子
北九州市立大学	建築デザイン学科	准教授	城戸 将江
株式会社洋建築計画事務所		代表取締役	城水 悦子
行橋市	人権政策課	相談員	野川 みゆき
九州労災病院	門司メディカルセンター	センター長	蜂須賀 研二

■JR九州関係者（敬称略）

九州旅客鉄道株式会社	施設部設備課	高木 圭一郎
〃		武藤 徹矢

■設計コンサルタント関係（敬称略）

株式会社アービカルネット	新田 裕司
--------------	-------

■事務局

折尾総合整備事務所	所長	廣中 忠孝
//	計画課長	太田 昭夫
//	まちづくり支援担当課長	濱田 孝洋
//	区画整理事業課長	高尾 精一
//	工事課長	井上 和広
//	計画課 事業調整係長	中原 崇文
//	計画課 まちづくり支援担当係長	清家 邦宏
//	計画課 開発担当係長	有田 隼人
//	区画整理事業課 事業係長	渡辺 晴子
//	区画整理事業課 換地係長	磯部 洋介
//	工事課 工事係長	竹村 圭司
//	工事課 連立・区画工事担当係長	武宮 史宜
//	計画課 事業調整係 主任	高巢 孝輔
//	計画課 事業調整係 主任	金子 慎吾
//	計画課 開発担当係 主任	大庭 慶祐
//	計画課 開発担当係 係員	平石 敦也

7 非公開の理由

北九州市情報公開条例第7条該当

- ・検討段階における未確定情報を含むものであり、地元住民等、市民の間に誤解や混乱を生じさせないため。

8 議事概要

(1) 折尾駅駅前広場景観計画について（事務局からの報告）

- ・折尾駅前の広場は大きく3つに分けることができ、それぞれの立地状況から、広場の役割を次のように決め、「使いやすい」、「折尾らしい」、「交流の場となる」といったデザイン方針を広場の景観計画に取り入れる。

駅舎前広場は、復元駅舎を引き立て、折尾の顔となり、人々の記憶に残る広場。

三角地の学園大通り広場は、幹線道路から見た折尾の「顔」の形成。

南口駅前広場は堀川沿いのまちづくりの起点となる広場景観の形成。

- ・地元からインターロッキング舗装は避けてほしいとの意見があり、コスト面等も踏まえ、透水性コンクリート等を舗装材の候補としている。なお、歩行者動線や、堀川が暗渠で通っている部分は色を変え、デザインに取り入れたい。

- 学生の送り迎えが多い駅なので、一般乗降スペースも含め、できるだけ雨に濡れないようにするため、駅改札から各種車両の乗降スペースへアクセスするルートにシェルター設置を予定している（一部高架下利用）。
- 広い駅舎前の空間を緩やかに区切るため、樹木を4本列植する。樹種については、地元は桜を要望しているが管理面も考慮して選定したい。樹木の足元は再生レンガで舗装し、ベンチを設置する。また、折尾の歴史を残すため、北口駅広のロータリーを横切るかたちで旧筑豊線レールの設置を検討している。
- 北口の学園大通り広場には、利用する方々の憩いの場として、サークルベンチや高架下店舗と連携して使用できるスペースの確保を予定している。また、各部の特性を活かし、小規模イベント（パブリックビューイング、フリーマーケット、軽トラ市等）が行えるようにしていく。
- 南口駅前広場には、例年折尾で開催されているイベントで使えるステージを設置し、普段はベンチとしても利用できるようにする予定である。ステージや植栽ます等の立ち上がり部には再生レンガを使用する。
- トイレは安全と案内のし易さの面から駅改札と交番から見通しの効く場所として、北口駅広ロータリーの日吉台光明線に面する部分に設置予定である。

(2) 市の目指す折尾駅周辺の土地活用イメージ（案）について（事務局からの報告）

- 地元や学生等からこれまでにいただいた要望等を参考に作成した「市の目指す折尾駅周辺の土地活用イメージ（素案）」について説明。
- 事業によって新たに生みだされる高架下空間は、合計で約 16,000 m²。
- 折尾地区の人口動向については、過去 10 年横ばいで約 1.1 万人、今後は、事業との相乗効果により、定住人口の増加が期待でき、併せて、駅周辺での住宅需要も高まると想定される。
- 駅乗降客数は、九州管内第5位の1日約3万2千人となっているが、駅周辺に集客施設や利便施設が少ないため、駅が通過点となっている。
- 現在の「駅周辺の主な施設の立地状況」として、スーパーマーケット等の物販店舗が、駅から 500m 圏内には立地がなく、日常的に駅周辺で買い物できる場所が不足している。公共施設は、以前に比べ、駅中心部から移転しており、地元や学生から、多目的に利用でき、多世代が交流できるような施設の設置が求められている。その他、保育園や幼稚園、学校、塾や予備校、病院・診療所等が、駅周辺に多数立地している状況。
- 平成26年度に実施した民間事業者24社を対象とした「市場調査」の結果として、約2/3の事業者が、折尾駅周辺の開発ポテンシャルの高さを評価しており、開発する際の導入機能としては、集合住宅、病院・福祉施設、商業施設、ホテル・オフィスが、多くの事業者から提案された。

- 平成 30 年 6～9 月の間に実施したアンケート調査の結果で、高架下にあると良いと思う施設は、民間施設では、スーパーマーケット、喫茶店・カフェ、飲食店・レストランであった。公共施設では、駐車場や図書館、地域交流施設であった。
- 現況や地域ニーズ等を踏まえ、折尾駅周辺における土地活用を「4つの方向性」にまとめた。
 - ① 日常の買い物機会の創出及び駅周辺の店舗（商店、飲食等）不足の解消
 - ② 定住人口の維持・増加及び少子高齢化への対応
 - ③ 多世代が交流する場の形成
 - ④ 交通結節機能を向上させる施設づくり
- 市の目指す折尾駅周辺の土地活用イメージ（案）
 - (1) 折尾駅の東側の高架下は、スーパーマーケットやカフェ等の商業施設
 - (2) 折尾駅の西側の高架下と南北駅前広場は、多世代交流施設
 - (3) (1) と (2) を除く高架下と新々堀川の廃川敷は、駐車場や駐輪場等の交通関連施設
 - (4) 南側駅前広場に近接するエリアは、駅前の賑わい空間として、飲食店等の商業系や集合住宅やオフィス等を視野
- 今後の予定

地元や学生から意見を伺い、秋頃までにとりまとめ、議会へ報告し、公表する予定。その後、高架下の土地所有者であり、南側駅前広場周辺の主な土地所有者である JR 九州に申し入れる。

9 会議の経過

(1) 折尾駅駅前広场景観計画について

- シェルターが一般車の乗降スペースまで伸びているので、健常者が身障者用のスペースに停める可能性は低いと思うが、身障者用のスペースだという表示をし、一般の方が停めないような工夫をしてもらいたい。身障者用のスペースがあっても身障者が停められないのが一番大きな問題になる。
- 最近、高齢者の方、体の不自由な方が街なかにも非常に多い。身障者用の乗降スペースにもシェルターを設置する等の配慮は必要である。
- 駅舎正面の樹木は、駅舎正面に 4 本列植するよりも、駅舎をアピールするため、2 本ずつ高架沿いに配置する方法もある。どちらが良いか地元にも聞いてみた方が良い。

- 折尾地域の植栽のデザイン性を統一しても良いと思う。例えば、テーマとなる花が咲くとか、四季折々で楽しめるとか、香りとか、色々な選択方法があると思う。植栽計画と並行して、夜間の照明も併せて考えると効果的と思う。
- 樹木の管理は、ボランティアで花づくりをしている団体等の地元の力を借りながら行うことが望ましい。管理に必要な水道を整備しておく等の計画が必要である。
- 舗装材に一部再生レンガを使うことになったというのは素晴らしいことだ。
- 駅前広場のランドデザイン上、トイレと交番の位置が疑問である。何かの機能とトイレを一緒にすることや、写真に撮りたくなるトイレ等のデザインもあるのかもしれないので検討してもらいたい。
- 様々な計画を立てて事業を進めてきたが、実施段階までに時間も経っており、計画時に議論されたことが反映されていないことも多々ある。実施を受注した業者に計画の意図がしっかりと伝わる仕組みや体制を整えてもらいたい。
- 地元の方は10年以上前の計画も憶えているので、十分にコミュニケーションをとるようにしてもらいたい。

(2) 市の目指す折尾駅周辺の土地活用イメージ(案)について

- 若い人と高齢者の両方への配慮が必要だが、特に高齢者に対しては、駅周辺にコンビニやスーパー等があって、一度に用事が済むようになれば住みやすいまちになると思う。
- 駅の近くに公共住宅があると住み替えやすいと思う。また、ゴミ問題も併せて考える必要がある。
- ゴミの問題でいうと門司では、門司を美しくする会に30団体が所属しており、年に一回程度当番が回ってくる。レトロ地区や門司港駅周辺でゴミ拾いをやっているが、現在ではほとんどゴミがなく地道な活動を継続していくことが大事だと思う。
- 図書館等については、幹線道路の横断をどうするかが課題だと思う。高齢者の方が増えてきているということもあり図書館等へのアクセス方法について考えていくことは重要である。
- 他都市には、地域包括ケアセンター等が駅にできている例もあり、そうした拠点として駅周辺はふさわしい場所であると考えます。
- 駅前広場が広いので、公共だけで維持管理ができるかが問題となる。TMO(タウン・マネジメント組織)などの組織により、民間でも維持管理をしていく仕組みが望まれる。「ねじりまんぼ」のある2号公園についても、パークPFIなどで運営をしていく方法を考えていくのが今後非常に大切なことではないかと思う。
- 働く女性に対しての保育とか、コミュニティセンター等の世代交流の場を求めている人が多いので、そういった場づくりの拠点が高架下のテーマとしてコンセプトが

あった方が良くはないか。そうした高架下のコンセプトがあることで近寄りやすいとか拠り所になるのかなと思う。

- 折尾にはホテルがないので、宿泊施設があっても良いと思う。
- 図書館も昔とは違ってきていると思う。カフェと一緒にあって一日中居ても良いところみたいなのができている。学生が求めているのはどんなものなか等を取り入れて新しい図書館が生まれていくと良い等。

10 問い合わせ先 建築都市局折尾総合整備事務所 計画課 事業調整係
電話番号 093-602-3108